

第43号文芸誌「三潮」が東奥日報と陸奥新報で紹介されました。



県内教職員の力作、青森県高等学校文化連盟文芸部の令和元年度入賞作品も掲載しています。

1冊1,000円で販売しております。

ご興味のある方は、総務課（017-721-1310）へご連絡ください。

東奥日報 2019年12月30日（月）朝刊掲載

特別寄稿や小説も「三潮」第43号発行

県教育厚生会 理事長（渡部秀逸）は、文芸誌「三潮」第43号に写真Ⅱを発行した。約300ページにわたって、現職・退職問わず教職関係

本一に導いた畑澤聖悟さんが、「もしイタ」と青森中央高校演劇部の九年間を特別寄稿している。

同校演劇部は2011年の東日本大震災の半年後から「もし高校野球の女子マネージャーが青森の『イタコ』を呼んだら（通称『もしイタ』）」を被災地などで上演してきた。当事者でもない高校生が被災地で上演する意義とは何か。「部員全員を一人残らず生かす」という高校演劇の理想に近づこうとする「高校劇児」らの活動を紹介する。

講演などを通して同厚生会と関わりがあった作家長部日出雄を追悼する「長部日出雄と津軽の風土―探求心と洞察力のジャーナリスト―」も掲載。津軽や太宰治などに好奇心と探求心を注ぎ、創作につなげていった長部の足跡をたどる。

このほか西谷ともえさんの紀行「碑を訪ねて〜観瀾山太宰治文学碑」、小泉敦さんの調査報告「青森県の二宮金次郎像と学校」、さいとうたかおさんの小説「志保の聖夜」など。

同誌は年1回発行。頒価千円。問い合わせは県教育厚生会（電話017-721-1310）へ。

（山崎光弘）

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。

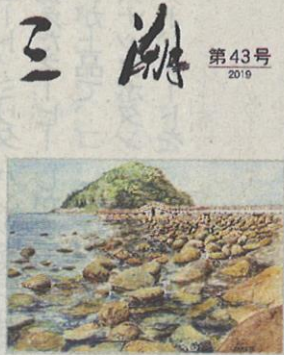
詩、小説など多彩な作品

文芸誌「三潮」第43号発行

本県の教職員と退職者が東日本大震災の被災地を応援するために「三潮」第43号が県教育委員会から発行された。もしイタコ育厚生会から発行された。もし高校野球の女子マ

た。さまざまな分野で活動している現職、退職者らの詩や小説、随想など多彩な作品が掲載されている。

特別寄稿は劇作家・演出家で青森中央高校演劇部顧問の畑澤聖悟さんによる「もしイタコ」と青森中央高校演劇部の九年間。同演劇部の演目で、畑澤



「三潮」第43号

地方に関連する事柄に。触れた文献をひもとき、考察した。テーマ投稿は「健康」で俳句、短歌、狂歌、川柳を掲載。随想は鈴木廣さん「鹿内の」で『神鷹』舞う一世界が近いかな。13編。県高校文化連盟文芸部の令和元年度入賞作品なども収載され

(高杉洋平)

この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。